

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

平成 22 年 11 月号 Vol.34



衛生士柴山の

歯っぴ～通信

～歯周病について②～

今回は前回の続きで、歯周病と関係の深い心疾患と糖尿病についてお話ししますね。

まずは心疾患についてです。心疾患は日本における3大死亡原因の1つです。歯周病菌は血流のことで心臓や他の臓器に感染することが分かっています。「細菌性心内膜炎」のほとんどは、口腔内の細菌が原因です。また、冠動脈に感染すると、動脈硬化を進行させる可能性が指摘されます。歯周病のある人は、ない人と比べて 2.1～3.4 倍も発症するリスクが高いと報告されています。

次に糖尿病についてです。血糖値の高い状態が続くと免疫力が低下し、歯周病の進行を早めます。糖尿病の方は、そうでない方に比べて重度の歯周病になるリスクが3倍も高いことや、感染しやすいこと、傷の治りが遅くなることも知られています。

今回は、歯周病と誤嚥性肺炎、早産についてお話ししますね。

収穫の秋ですよ！！

みなさん、こんにちは、いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。11月になりましたね。今月も患者様とのコミュニケーションのための【歯っぴ～通信】をお届けします。10月の途中からひんやりする日が増えてきて、秋を通り過ぎて、一気に冬が来たような気がします。夏が暑く長かったせいもあって、秋が短いような気がしますませんか？郊外の田んぼも稲刈りがすみ、たわわに実った稲穂が刈り取られた田んぼを見ると、どことなく冬を感じてしまいます。ただ、この季節は、色々とおいしい味覚を口にすることができますよね。新米もそうですが、栗やキノコ類、あるいは、脂の乗ったサンマの塩焼きなど、この時期だからこそ頂けるおいしいものがたくさんあります。気温が低い日があって、冬の訪れを感じざるを得ないですが、そういった秋の味覚で、しばらくは、秋を感じるができそうです。また、「秋の夜長はつるべ落とし」という言葉あるように、なんだか日暮れが早くやってきますよね。秋は夜が長いので、昔から深く考える時期だったようです。私も、少しずつですが、「私自身は、どうありたいのか？」「どうすれば患者さんに、よろこんでいただけるのか」といったことを深く考えるようになり、その助けとなるようにと本を読むようになってきました。夜が長いからなのかはわかりませんが、いろんなことを考えますね。収穫の秋なので、私も何か次につながるものを収穫できたらいいなあと思います。みなさんは、秋の夜長、どうお過ごしですか？何か収穫へ向けて行動していっていらっしゃいますか？

院長 池上誠

思わしくないギネス記録！？

ギネスブックに書こうかかれています。『地球上を見渡しても、この病気に冒されていない人間は数えるほどしかいない。全世界で最も患者が多い病気は歯周病である。』歯科医としてはとても残念な記録です。まだまだ自分が歯周病だと自覚している患者さんは少ないです。何ででしょうね？

ムシ歯なら、痛い、しみる、噛めない、食べれない！と困ることだらけなのに歯周病は日常生活でそこまで困ることはないですから、どんどん治療が先送りになりがちなんです。ほんとに残念です。読者のみなさん！痛くなくても一回歯ぐきの強度調べてください。気になる方は、お気軽に声を掛けてください。

患者様の声～あなたの声を聞かせてください～

毎月、このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。左の上と右の下の奥歯が、食べるのにとても不自由でした。今回、治療していただき、少々かたい物でも、何でも噛めて不自由を感じなくなりました。大切に使いしていきたいと思います。(60代：主婦)

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上 誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から10分
いけがみ歯科クリニック
(086)237-7731



※お知らせ※携帯用ホームページができました!!